

代表質問(要旨)



議員 青山 大人 民主党 浦市選出 分割方式

ベンチャー企業の創出・育成支援の推進

議員 本県の産業集積や地域資源を生かしながら、中小企業やベンチャー企業が茨城らしい事業を展開することが、地域経済の活性化に繋がる。ベンチャー企業の創出・育成支援の推進にどのように取り組むのか。

知事 基金を活用して新技術や新製品の開発などを支援するとともに、新たにコンテンツ分野でのクリエイターの育成に取り組んでいく。さらに、年度内に新投資ファンドを造成し、成長分野に進出する中小企業などに、資金調達の支援をしていく。



議員 八島 功男 民主党 浦市選出 一括方式

認知症高齢者対策

議員 かかりつけ医の対応能力の向上や認知症サポート医養成の一層の充実、地域の見守り力を活用した徘徊SOSネットワーク体制の整備などが必要と考えるが、どのように推進していくのか。

知事 医師会などと協力の上方、研修機会の拡大や内容の充実を通じ、認知症サポート医などの

ひとり親家庭などへの学習支援

議員 学びたいのに家庭環境によつて学習する機会を得ることができない子どもたちへ、学習の機会を提供し、貧困の連鎖を断ち切っていかなければならない。ひとり親家庭など貧困世帯の子どもたちに対する学習支援にどのように取り組むのか。

知事 ひとり親家庭の子どもの学習支援や進学相談を行う学習ボランティア事業の活用を、市町村と連携しながら検討していく。今後、県が策定する「子どもの貧困対策計画」に、貧困の連鎖を断ち切るための教育の支援をしっかりと位置づけたい。

霞ヶ浦の水質浄化対策

議員 霞ヶ浦の第六期湖沼水質保全計画は、五年の計画期間のうち三年が経過したが、計画をどのように評価し、今後、どの

新しい教育委員会制度 改革について

医療従事者の一層の養成に努めていく。また、徘徊SOSネットワークについて、市町村や近隣都県と連携して捜索する体制を整備したところであるが、今後、全国の先進事例も取り入れ一層の機能強化に努めていく。

議員 現行の教育委員長と教育長の一本化となる新「教育長」についてどのような期待を持っているのか。また、新たに設置される「総合教育会議」についてはどのような姿勢で臨もうとしているのか。

知事 新教育長には、県行政に係る総合的な視点と迅速な危機

ような施策を実施していくのか。

知事 計画は、総体的には概ね順調に進捗しているが、一部に若干の遅れがある。今後は、高度処理型浄化槽設置の自己負担軽減や、流域内の畜産の堆肥をセメント工場の燃料とする実証試験などにより、さらなる水質改善が図られるよう計画に基づき施策を着実に進めていく。(ほかに、外国人観光客の誘致、動物愛護対策なども質問)



「いばらき創業塾」セミナーの様子

「泳げる霞ヶ浦、遊べる河川」 達成に向けて

管理体制の構築を期待する。また、総合教育会議では、幅広い視点での意見交換を行い、本県教育の基本方針である大綱について、時代に即したものを策定していきたい。

議員 「泳げる霞ヶ浦、遊べる河川」達成に向けての所見は。

知事 COD五ミリグラムパーリットル前半の水質を実現するために、生活排水など全ての汚濁源での負荷削減や霞ヶ浦導水事業の完成が必要となる。これらの着実な推進のため、県民自らも下水道などへの接続や高度処理型浄化槽の設置など



議員 白井 平八郎 自民県政クラブ 結城市選出 一括方式

ジェットロと連携した 対日投資促進

議員 地域経済の活性化を実現するためには、ジェットロと連携して、外国企業の誘致など積極的な投資の呼び込みが不可欠である。今後、本県への対日投資促進に向け、ジェットロとどのように連携し、取り組んでいくのか。

知事 映像による海外向け情報発信や、ジェットロが世界各地に配置する産業スペシャリストの活用など、海外での投資誘致活動を推進していく。また、外国企業のニーズや効果的な誘致方策の研究を行い、つくば国際戦略総合特区周辺への研究開発型企業の進出など、幅広い投資

を促進する施策を検討していく。

議員 市町村が行う産業基盤の開発整備において、迅速な開発ができるよう、開発公社が有する高い企業誘致能力を生かして、市町村への支援を積極的に取り組んでいくか。

知事 事業計画の策定から造成、企業誘致など一連のノウハウを有する開発公社は、長年、本県の工業団地造成の中心的役割を担ってきた。市町村と一体となり産業用地の開発に取り組むことは大変有効であり、企業誘致を着実に進めるためにも、開発公社が積極的に市町村を支援できるように、指導していく。

新四号国道の整備見通し

議員 圏央道の開通により、今後新四号国道の交通量が増加することが予想されるが、二車線



企業立地が進む本県の工業団地(写真は茨城工業団地)

区間の四車線化と、さらに六車線化への整備見通しは。

知事 圏央道の開通に合せ、本年度中に埼玉県区間を含む十七・三キロメートル全てが四車線で供用される見込みであり、併せて古河市内の四車線区間についても、二〇一六年度の六車線化完成を目指している。(ほかに、茨城農業の展開方向、小学校の英語教育なども質問)

県議会を傍聴しませんか

県議会の本会議は、どなたでも傍聴することができます。本会議の傍聴(定員300名)を希望される方は、県議会議事堂5階の傍聴受付で簡単な手続きをしていただくだけで入場できますので、是非お越しください。

なお、手話通訳を希望される方、委員会の傍聴を希望される方、その他詳細についてお知りになりたい方は、県議会事務局議事課にお問い合わせください。



お問い合わせ先

電話 029-301-5634 FAX 029-301-5629